

# つべつ生活体験「通学合宿」【北海道】

## ■団体の名称

津別町教育委員会

## ■連携している団体

高校生ボランティアサークルひまわり  
社会教育人材バンクまなび〜ぶる 等

## ■背景・ねらい

〈背景〉津別町では、子どもたちのデジタル依存等による生活習慣の乱れ、体験機会の不足による生活力の低下が懸念されている。

〈ねらい〉親元を離れ、生活習慣を見直しながら集団での日常の生活体験を行うことで、自主性・協調性を育み、自立したたくましい子どもの健全育成を図る。また、親離れ、子離れの体験を通して、家庭教育環境等の再考を図る機会とする。

## ■活動内容

本事業は、小学4年生から6年生までを対象に平成19年度から実施している。

### 【生活リズムチェックシートの活用】

事業1週間前から事業終了後までの期間中、町独自で作成した「生活リズムチェックシート」に生活を記録して家庭での普段の生活を見直し、規則正しい生活習慣の確立に向けた意識づけに繋げている。

### 【自立に向けた生活体験】

各回で「自分のことは自分でする」、「いろんなことに挑戦する」等の目標やテーマを設け、参加者が自ら買い物や調理、お金の管理を行う等、自立に向けた生活体験を実施している。

### 【地元町民や高校生との交流体験】

町民や地元の高校生を講師とした郷土芸能など、地域の多様な体験の機会を設け参加者のふるさとを愛する心を育てている。

### 【成長の見える化】

職員は、参加者が書く目標や頑張りの日記に、振り返りのコメントを返し、参加者の成長に繋げる他、終了後に活動写真を添え、保護者が参加者の成長や活動の様子を見てわかるよう工夫している。



高校生に見守られての  
買い物と料理

## ■成果

### 【自主性・協調性の育成】

参加者それぞれが生活と学習に関する目標を立て、毎日振り返ることにより、規則正しい生活習慣を身に付けるきっかけとすることができた。後日、保護者からは「子どもが自分で考えて行動する場面が増えた」との声を聞くことができた。

### 【家庭の教育力の向上】

参加者からは「親のありがたさと大変さがわかった」、保護者からは「この子がこんなにできるとは思わなかった」との声が得られ、お互いの愛情や絆を改めて考える機会となった。

### 【地域の教育力の育成】

社会教育人材バンクの活用により、町民の学びを生かす機会となっており、長年に渡り多くの団体に関わってもらうことで、町全体で子どもたちの成長を支える機運の醸成に繋がっている。

### 【学びの循環】

小学生の頃に通学合宿を経験した高校生がボランティアという立場で参加しており、学びの循環が生まれている。



人材バンクの皆さんによる  
体験講座